

作業療法学専攻

専門職大学での作業療法学の学び

基礎科目

- 1 人間の探求
  - 心理学 ●生命倫理 など
- 2 社会の探求
  - コミュニケーション論
  - リーダーシップ論 など
- 3 地域の探求
  - 地域課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 4 自然の探求
  - 情報処理演習Ⅰ・Ⅱ など
- 5 健康の探求
  - 健康科学 ●健康とスポーツ
- 6 外国語の探求
  - 英語Ⅰ・Ⅱ ●英会話 など

職業専門科目  
専門支持科目

- 1 基礎医学
  - 解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
  - 生理学Ⅰ・Ⅱ
  - 作業療法運動学演習
  - 人間発達学 など
- 2 臨床医学
  - 内科学
  - 整形外科学
  - 臨床神経学
  - 精神医学
  - 小児科学
  - リハビリテーション医学 など
- 3 保健医療福祉の理念
  - リハビリテーション概論
  - 地域包括ケア論 など

職業専門科目  
専門基幹科目

- 1 基礎作業療法学
  - 作業療法概論
  - 基礎作業学実習 など
- 2 作業療法評価学
  - 基礎作業療法評価学
  - 作業療法評価実習Ⅰ など
- 3 作業療法治療学
  - 作業分析
  - 基礎作業療法治療学Ⅰ
  - 身体障害作業療法実習Ⅰ
  - 精神障害作業療法実習Ⅰ
  - 老年期障害作業療法実習Ⅰ
  - 発達障害作業療法実習Ⅰ
  - 臨床作業療法技法実習Ⅰ など
- 4 地域作業療法学
  - 地域作業療法学
  - 就労支援作業療法演習
  - 機能代償支援作業療法実習
  - 生活環境支援作業療法実習 など
- 5 作業療法臨床実習
  - 作業療法臨床実習Ⅰ
  - 作業療法臨床実習Ⅱ
  - 作業療法臨床実習Ⅲ

専門基幹科目は  
実習科目  
を中心に構成!



スプリント(装具)作製実習

専門職大学での新しい学び

「職業専門科目」に加え、関連する他分野を学ぶ「作業療法展開科目群」、大学が養成する人材像や到達目標に照らして最終的に確認するための「応用作業療法学」を配置し、専門職としての幅を広げる学修を行います。

作業療法展開科目群

対象者が持つ能力を地域社会の中で必要とされる能力として開発し、生活課題の解決におけるマネジメント能力を修得します。

- 1 地域の特性の理解
  - 土佐地域資源論 ●地域防災論
- 2 社会的課題への解決手法の理解
  - 社会的企業論 ●ロボット技術活用論
- 3 対象者への教育と支援技術の理解
  - 特別支援教育論 ●対人援助技術論
  - 更生保護制度論
- 4 生活を支えるサービスの理解
  - 地域生活とサービス
  - 精神障害者の援助とネットワーク
  - 障害者の社会環境と制度

応用作業療法学

これまで学修した内容の総まとめとして、実践の場における見学や事例を通して、作業療法支援の実践について学修します。

- 作業療法地域支援実習
- 応用作業療法学演習
- 作業療法総合演習Ⅰ
- 作業療法総合演習Ⅱ
- 作業療法総合演習Ⅲ



学外施設における作業療法実習



障がいの疑似体験実習

最先端研究機器

Driving simulator  
ドライビングシミュレーター

生活の中で自動車運転は必要です。高齢者や脳機能障害を有する方などの運転技能を研究し、生活支援に役立てることができます。



EYEMARK RECORDER  
アイマークレコーダー

眼球運動を測定する機器です。眼球運動を測定することで、その人の興味関心や脳機能の測定、精神機能や高次脳機能についての研究を行い、様々な作業療法に役立てることができます。



環境設定型浴室セット

入浴動作は大切な生活行為であり、障がいの程度に合わせて住みやすい環境設定が必要になります。この浴室セットで環境設定の視点を学ぶことができ、安心な入浴支援に役立ちます。



Message  
教員からのメッセージ

人の生活は、様々な作業や活動の連続で成り立っています。食事や入浴などのセルフケアや家事、仕事、余暇、地域活動などは、人によって「したいこと」「やり方」そして「それをする意味」が異なります。  
「こころ」や「からだ」の病気やケガなどのためにやりたいことができなくなったとしたら…。誰もが住みなれた場所で安心して生活を続けることができるように、作業療法士は、その人が持つ能力を最大限に活かすとともに、能力を補うための環境を整えることを仕事としています。「その人のしたい生活ができるようになる」ための支援を、保健・医療・福祉分野の専門職や地域社会の企業や住民等、多くの人々とともにやりがいのある仕事です。  
生活を支える専門職として地域のニーズに応えられるよう、作業療法をさらに展開させるカリキュラムを準備しています。専門職大学で未来を築く作業療法と一緒に学びませんか。